



国際連盟公認球・屋外用
SRP-24 SET
ブラック球セット
¥77,000 (税抜価格 ¥70,000)
 ボール12、ビュット2、
 簡易サークル1、
 マーカー1、ケース付
 梱包サイズ:27×26×21cm
 重量:約9kg



レジャー球・屋外用
SRP-410 SET
シルバー球 普及用12
¥29,700 (税抜価格 ¥27,000)
 ボール12
 ビュット2、簡易サークル1、
 簡易メジャー1、ケース付
 梱包サイズ:24×17×17cm
 重量:約9kg

※表示価格は2023年1月21日現在のメーカー希望小売価格です。価格及び仕様変更になる場合がありますので予めご了承下さい。

ペタンク概要

用具

ボール [屋外用] 金属製の中空個ボール12個。競技用公認ボールは重さ650g~800g。サイズは直径7.05cm~8.0cm。
 [室内用] 軟質プラスチックまたは牛革や合成皮革のボール12個。

ビュット [屋外用] 直径3cm前後の目標球。
 [室内用] 直径約4cm~5cmの目標球。
 2mが測れるメジャー、ボールの汚れをふき取る布切れ、スコアボード。

場所

ある程度堅い土の上が理想的ですが、砂利の混じった敷地などでも可能です。広さは、長さ15m×幅4m程の平坦なところ。

人数

ダブルス(2対2)またはトリプルス(3対3)。1人の持ちボールはダブルスの場合で1人3個、トリプルの場合は1人2個。常に12個のボールを使用することが基本となります。



レジャー球・室内用

SRP-530 SET
室内用ソフト球Cセット
¥24,200 (税抜価格 ¥22,000)
 ボール12
 (レッド6、グリーン6)、
 ビュット1、簡易サークル1、
 ケース付
 梱包サイズ:34×29×11cm
 重量:約3kg

ご使用上のお願い

- 本製品の使用はペタンク競技に限定されます。
- ボールを投げる場合、周りに障害物がないか、競技者以外の人がないか、周囲の安全を確認してください。
- 初心者の方は、指導者及び熟練者の指導のもとでプレーしてください。
- 濡れたボールは滑りやすいので、乾いた布で水分を拭き取ってから使用すること。
- 手袋をしてボールを投げないこと。
- 万一ボールにヒビが入った場合、そのボールは使用しないこと。
- 水気や汚れのついたボールは乾いた布で表面をよく拭き取り、保管してください。

ニュースポーツ **Newspox**
 生涯・健康スポーツ用品
 ニュースポーツの専門店 ONLINE SHOP



ウェブサイトはこちら

★ 用品・用具のお買い求めはお近くのスポーツ店、もしくは左記フレンドリー情報センターのオンラインショップにてどうぞ。

SUNLUCKY NEWSPOX FOR EVERYONE

ニュースポーツメーカー 株式会社 サンラッキー
 【お客様窓口】 ☎ 0120-81-4670 (平日9:30~17:00 / 土・日・祝日 休み)
 http://www.sunlucky.jp
 E-mail: info@sunlucky.jp FAX: 06-6981-6740

ウェブサイトはこちら

発祥地フランスでは愛好者600万人以上の人気スポーツ

SUNLUCKY ペタンク PÉTANQUE



ペタンクは、南仏生まれのスポーツ。発祥の地フランスでは愛好者が600万人を超え、年中各地でさまざまな競技会が開かれています。最近では地中海沿岸諸国をはじめ、アフリカ、アメリカ、カナダ、タイなどに広がりを見せ、国際的なスポーツとして成長してきています。日本では昭和45年頃から普及されはじめ、現在では日本ペタンク選手権大会などいろいろな競技会が各地で行われ、年々競技人口が増えています。

これだけペタンクが盛んになったのは、特別な施設を必要とせず、またルールが簡単で、誰もが手軽に楽しめるからです。端的に言えば、味方チームのボールを標的にどちらがより近づけるかを競う競技で、一見単純に見えますが、実は高度なテクニックと戦略を必要とし、プレーしてみるとその奥行きの高さに、魅せられることでしょう。

基本動作

足の位置

直径35cm~50cmくらいのサークルの中に入れて(図)、両足を揃えた状態でボールを投げます。足の位置はバランスを取るために、多少ずらしても構いません。



ボールの握り方

手のひらで水をすくう時のようにして、ボールを包み込むように軽く握り、そのまま手の平を下に向けます。(図)



ボールの投げ方

サークル内よりボールを握った手を後方に引いて[図1]、その後、振り子のように前方に振り出し、その弾みを利用して投げます[図2/アンダースロー]。投球姿勢はしゃがんでも、立ってもどちらでも構いません。ボールがビュットの近くで止まるように投げる「ポワンテ」と相手のボールに当てるためノーバウンドで投げる「ティール」とでは、投球方法は異なります。

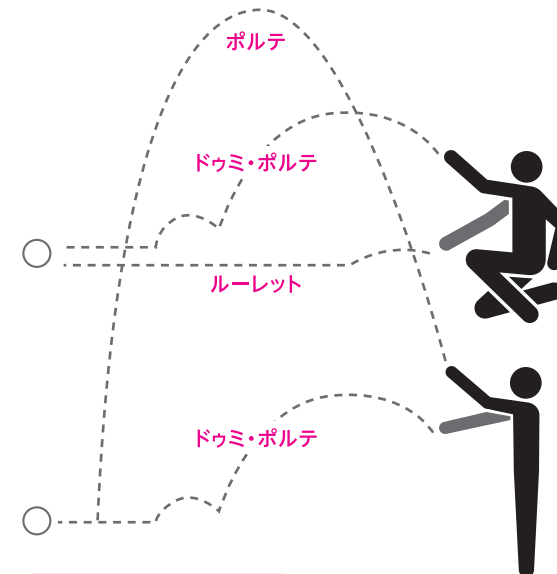
[図1]

[図2/アンダースロー]



ポワンテの投球方法

[ルーレット] ボールをゴロで転がします。
[ドゥミ・ポルテ] サークルとビュットの間にボールを落とし、惰力でビュットに近づけます。
[ポルテ] ボールを高く放り、ビュットのすぐ手前に落とします。

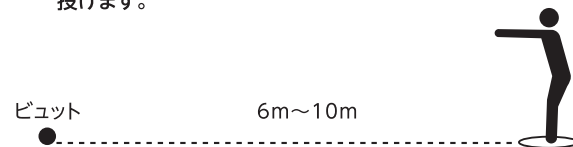


ティールの投球方法

当てようとするボールを直接狙って投げます。狙った相手のボールの真正面に当て、相手ボールを真直ぐに弾き飛ばします。自分のボールが当たった位置で「ピタッ」と止まるのが、理想的なティール投球です。これを「カロー」といいます。

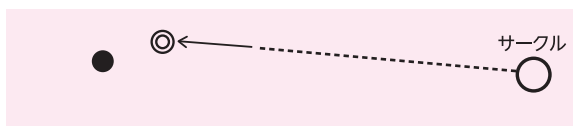
ゲームの進め方

1 ジャンケン、トスなどで勝ったAチームの1人がスタート地点となるところに直径35cm～50cmのサークルを描き、その中に立ち、6m～10mの距離に標的となるビュットを投げます。



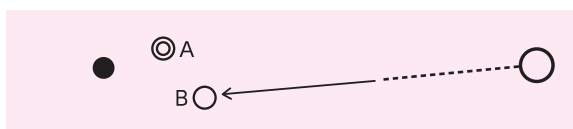
[注 意] ビュットが6m以下または10m以上で止まった時は無効となり、投げ直しをします。3回まで投げ直しをして、それでも無効の場合は、相手チームにビュットを投げる権利が移ります。ただし、相手チームの投げたビュットが6mから10mの距離に止まっても、次のプレーでボールを最初に投げるのは、ジャンケンやトスなどで勝ったチームからです。

2 ビュットが6m～10mの距離に止まった後、引き続きAチームの中の1人が第1球目のボールを、できるだけビュットの近くに止まるように投げます。



[注 意] チーム内での投球順は自由。

3 次にBチームの1人が、Aチームのボールよりビュットに近づくように第1球目を投げます。両チームが1球ずつ投げ終えた後、どちらのボールがビュットにより近いかを測ります。ビュットに近いほうを優勢チームとし、逆に遠いほうを劣勢チームとします。事例ではAチームが優勢。

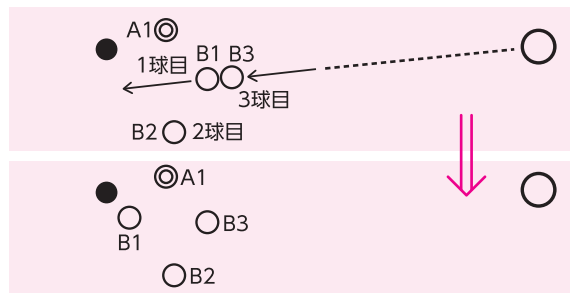


4 次に劣勢チーム (Bチーム) が、優勢チームのボールよりもビュットに近くなるまで投球を続けます。1球で近づかなければ、近づくまで次々と投げ続けます。事例ではBチームは2球目を投げましたが、ビュットからの距離がAチームのボールより遠いため、3球目も投げなければなりません。

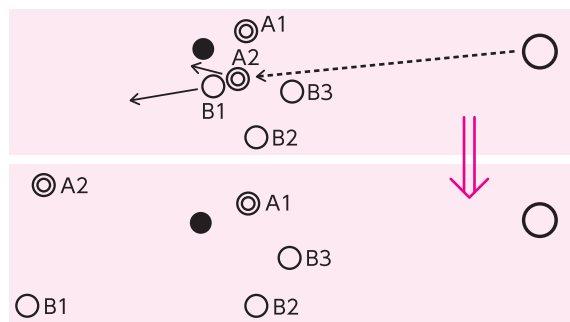


[注 意] こうして優勢チームは休み、劣勢チームが投球を続けますが、持ちボールはチーム当り6個しかないので劣勢チームはできるだけ少ない投数で逆転できるように投球することが大切です。

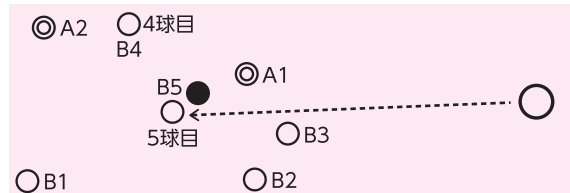
5 事例ではBチームの3球目が味方ボールを押して、その結果Bチームのボールがビュットに一番近くなり、逆転しています。



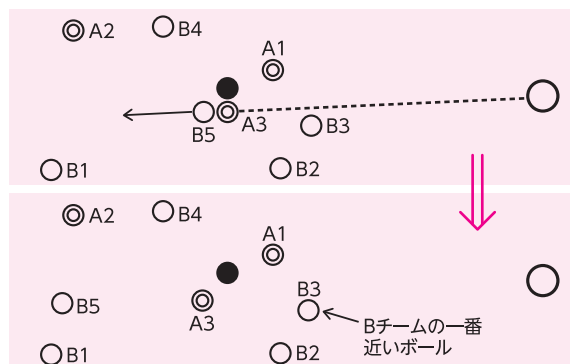
6 次は劣勢となったAチームがボール (事例では第2球目) を投げるようになります。Aチームが投げた結果、Bチームのビュットに一番近いボールに当たって (ティール=直接当てて弾くこと)、再度Aチームのボールの方がビュットに近づきました。



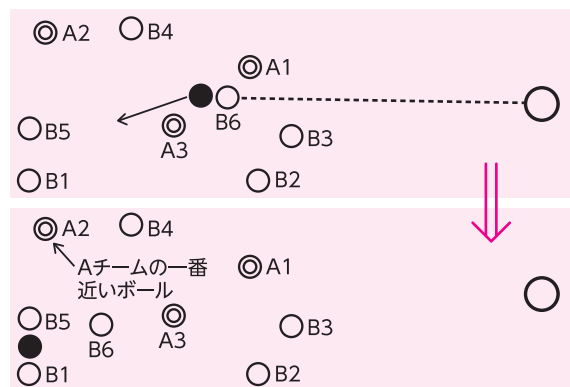
7 次に劣勢となったBチームがボールを投げます。第4球目は遠くに止まりましたが、第5球目がビュットの横で止まり、Bチームが優勢になりました。



8 次にAチームが3球目を投げます。結果、Bチームの一番近いボールをティールし、Bチームのボールは弾かれ、Aチームのボールがその場に残りました (=カロー)。Aチームが再逆転しました。

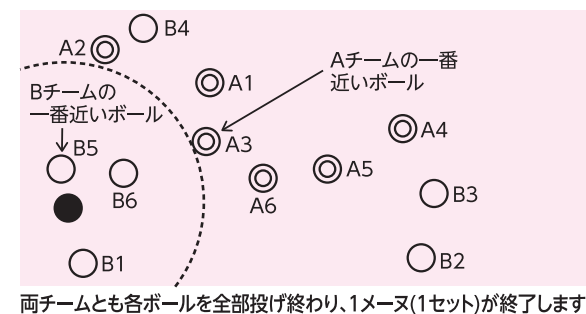


9 Bチームの6球目はビュットに当たり、ビュットが移動し、Bチームの近くで止まりました。またまたBチームの逆転です。

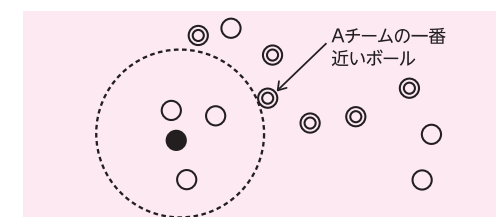


[注 意] ビュットが移動してもそのままプレーを続けます。

10 Aチームは残り3球を投げ終わりましたが、Bチームの一番近いボールよりも、ビュットに近づけませんでした。



11 第2メーヌは、Bチームが1メーヌ終了時のビュットを中心にサークルを描き (図)、そこからビュットを好きな方向へ投げ、開始します。



ビュットと、負けたチームのボールの中でビュットに1番近いボールを結んだ直線を半径とし、その円内にある勝ちチームのボールの数が点数となる。

勝敗と得点の数え方

味方チームのボールをビュットに1番近く配置させたチームの勝ち。得点は、負けたチームのボールの中でビュットに1番近いボールより、さらにビュットに近いところにある勝ちチームのボールの数で決めます。事例では1メーヌ目は0対3でBチームの勝ち。何度かメーヌを繰り返して、13点を先取したチームが、最終的に勝ちとなります。

【ペタンクスコアシート 記入例】

【例1】

チーム名		得点	チーム名	
選手名	選手名		選手名	選手名
		1		
		2	✓	
		3	✓	
		4		
<hr/>				
		11		
		12	✓	
		13		
		13	スコア	12

得点を ✓ で加算していく。
13:12で
Aチームの勝ち

【例2】

チーム名		得点	チーム名	
選手名	選手名		選手名	選手名
		1		
		2	2	
		3	3	
		4		
<hr/>				
		15	11	
		17	12	16
		18	13	
		18	スコア	12

メーヌ番号を入れて得点を加算していく。
第1メーヌ A3-0B
第2メーヌ A3-2B
第3メーヌ A3-3B
第16メーヌ A11-12B
第17メーヌ A13-12B
17メーヌ目に13:12で
Aチームの勝ち

場所: _____ 年 月 日

チーム名		得点	チーム名	
選手名	選手名		選手名	選手名
		1		
		2		
		3		
		4		
		5		
		6		
		7		
		8		
		9		
		10		
		11		
		12		
		13		
		スコア		

※コピーしてお使い下さい。